



**"WE'RE OPEN FOR BUSINESS:
Supporting Vanuatu's Recovery"**

"A dedicated advertising page for businesses to reconnect with the community." "Let your customers know you're back and ready to serve. Join our special page in the Daily Post to reach thousands across Vanuatu."



https://www.dailypost.vu/news/vt597-500-donated-for-earthquake-relief-by-japans-nabanga-pikinini-association/article_90274bd1-e897-528d-91ff-cfec6eecc968.html

日本ナバンガピキニニ協会より地震救援金として597,500バーツを寄付

By ニコラス・ムワイ
Apr 2, 2025

1 / 3



奥田尚久大使がナバンガ・ピキニニ協会に寄付金を手渡す。

By ニコラス・ムワイ

バヌアツのナバンガ・ピキニニ・アソシエーションは、2024年12月17日に発生した地震の被災地である学校を支援するために、日本のナバンガ・ピキニニ・アソシエーションから597,503VTの寄付を受けました。

この資金は、K2が主催するバヌアツテニスクラブでの式典で、奥田尚久駐バヌアツ日本国大使から正式に手渡されました。奥田大使は、「お時間を割いてお話しいただき、誠にありがとうございました...また、皆様のご協力により、寄付金が被災した学校で有効に活用されること

プライバシー・利用規約

ています。」彼は、国際送金の問題による遅延を認め、日本・バヌアツ・ナバンガ・ピキニニ協会が732,000円(約597,500バーツ)を集めたことを称賛しました。

ナバンガ・ピキニニ・プロジェクトは、2007年にポーリン・グリンドリーが気候変動適応大臣のラルフ・レゲンバヌと協力して、バヌアツのカスタムストーリーを子供が利用できる形式にアレンジしたことから始まりました。この取り組みがきっかけで、2014年にマーク・スタッフォード氏、ルフィーノ・ピネダ氏、クリスティーナ・ショー博士、キャロル・アルー氏、アン・パコア氏、アンナ・ナウパ氏(タフ・トゥマス)、ポーリン・グリンドリー氏らが参加する「ナバンガ・ピキニニ協会」が結成されました。協会は定期的にプロジェクトを計画し、財務を管理しています。

レゲンバヌ大臣は、地元のストーリーテリングの重要性について語り、「ちょうど10年前、私たちは子供たちが地元の習慣に基づいた物語を読むことができるように、ナバンガ・ピキニニ協会を設立しました。それ以前は、子どもたちはヨーロッパの物語を読んでいました。それは素晴らしいことですが、私たちは自分たちの文化からの物語が欲しかったのです。」

日本ナバンガピキニニ協会は、2015年のサイクロン「パム」以降、地元の学校向けの書籍やゲームの印刷資金など、安定したパートナーとして活動しています。このコラボレーションにより、展示会、教育講演、出版物(*Pikinini Telecommunications*や*Pikinini News*など)が生まれました。

ナバンガ・ピキニニの伝統的なカスタムストーリーの著者兼編集者であるグリンドリー氏は、「この日本の支援は、私たちの協力の継続を示しており、バヌアツの教育セクターを支援するという共通のコミットメントを示しています」と述べました。

奥田大使は、日本バヌアツ・ナバンガ・ピキニニ協会が、翻訳された絵本、写真展、オンライン学校交流を通じて、日本におけるバヌアツの認知度向上に努めていることを称えました。「こうした継続的な活動があったからこそ、多くの日本人が震災のことを考えている」と話します。

ナバンガ・ピキニニ協会は、奥田大使とK2の支援に感謝し、教育を促進する上での異文化協力の重要性を強調しました。

nicholas@dailypost.vu